

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コネクト×さいころ（児発）		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 4 月 14 日 ~ 令和 7 年 4 月 30 日		
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	6	(回答者数)	6
○従業者評価実施期間	令和 7 年 4 月 14 日 ~ 令和 7 年 5 月 9 日		
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 5 月 29 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員全員がスイッチの操作ができる。そのスイッチを用いて、おあつまりや活動等で児童の思いを代弁できる	作業療法士を中心に、各々の児童の特性に応じたスイッチの配置や機器の使用方法等についてアドバイスを受けている	職員1人1人が児童の「できた」をサポートできるよう経験値を上げ、継続的に支援ができるようにする
2	長期休みには、季節に応じたイベントを行いつつの活動とは違う体験や遊びを提供できる	長期休みの前に活動班にてイベントの検索等を行い、暑さの苦手な児童で外出ができなくても、長期休みならではの雰囲を感じられるような活動を提供している	施設内外の遊びだけでなく、レクリエーションや制作等の充実を図る
3	保護者との連携を大切にし、定期的な面談や送迎時などの会話を大切にしている	朝礼・終礼などで日々の児童・保護者の様子を共有しているほか、抱えきれない内容については管理職へ相談できなどの体制が整っている	話し方、聞き方、相づちの仕方など、相手に合わせたコミュニケーションを身に着ける

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害時の対応についての周知不足	定期的な訓練を行っているが、参加できる児童が限られている。また、当日の状況によって変更する場合もあるため事前周知を行えていない	災害時の緊急時対応について、職員に周知するとともに保護者へ周知・説明できる場を設ける
2	保護者同士の交流の場が少ない	事業所として交流できる機会を設けられていない	年1回は保護者を交えた交流会の場を設けるようにしたい
3	ホームページ等の情報発信	更新されていないまたは情報量が少ないため、HPへの訪問が少ないと感じている	必要な情報が得られるようホームページの定期更新及びSNSを活用した事業所の情報を発信していく